

## 1 活動名

姫路市 「姫チャリについて」

## 2 調査の目的

(1) 本市における課題

観光における自転車利用の促進

(2) 調査の必要性

観光地としての更なる知名度向上、観光促進のため

(3) 調査項目

姫チャリ

## 3 調査地選定理由

(1) 兵庫県姫路市

観光地として人気のある姫路市で、コミュニティサイクル「姫チャリ」という自転車利用を活用した交通手段の利便性について本市との比較をしたいため

## 4 調査結果

(1) 実施日 2019年7月6日

(2) 出席者 2名 上條美智子 内田麻美

(3) 姫路市

コミュニティサイクルとは、「サイクルステーション」と呼ばれる貸出施設を設置し、どのサイクルステーションでも貸出と返却が出来るシステムを採用した自由度の高いレンタサイクルのことです。

目的としては、中心市街地へ公共交通で来られる方への二次的な交通手段として、市街地の回遊性、魅力の向上や地域・観光の活性化を図るためです。

姫路市コミュニティサイクル「姫チャリ ミミちゃん号」は1回100円で、20カ所あるサイクルステーション(貸出・返却拠点)であれば、どこでも利用が出来ます。利用時間は7時から20時(返却は24時間OK)で、利用対象は中学生以上、自動支払機にて貸出手続きをします。支払方法は現金またはクレジットカードです。現金の場合は、携帯電話が登録の際に必要です。

観光客が利用しやすいように姫路駅・姫路城周辺を中心に設置されています。

視察日が土曜日だったため、観光客がとても多く、場所によってはほとんどの自転車が貸出中のサイクルステーションもありました。(各サイクルステーションは10台程度の設置が可能です)

姫路駅からループバスも運行しており、姫路城、美術館前、博物館前、文学館前、好古園前など観光スポット前で停まるようになっているが、姫チャリのステーションも同様の場所に設置されていることから、天候や状況に応じてバスか自転車の選択をして観光を楽しんでもらえるのが利点だと考えます。

利用数などの確認が取れなかったため、詳細は分かりませんが、本市でも今年3月から開始されているシェアサイクルの利用促進、PRも勧めて観光の活性化につなげていきたいと考えます。

(4) 成果・所感等

姫路市はインバウンド観光客がとても多く、徒歩、自転車、バスなどの選択が出来る中で観光地をゆっくり回れる印象がありました。

JR 姫路駅の北口に降りると正面に姫路城が見える立地になっており、とても魅力的でした。

姫路文学館も見学しましたが、姫路を中心とした播磨ゆかりの作家や学者たちを顕彰し、作品の魅力を知れる施設でした。

インバウンドの増加も共通する本市でも、基幹博物館や交通手段の面など姫路市を参考に更に活性化するように考えて参りたいと思います。

5 政務活動費

- |          |        |
|----------|--------|
| (1) 使途項目 | 調査旅費   |
| (2) 支出額  | 福岡市に同じ |

—以 上—